

“顔の見える”府内のクリエイター紹介サイト 「クリエイティブクラスター」登録1000件突破 今年度も現役クリエイター約60人と連携し、大阪のクリエイティブ産業活性化を推進

～企業・団体からの問い合わせが増加。今後はインバウンドや農業分野などでの協働も期待～

クリエイター（※1）支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」（所在地：大阪市北区所長：堂野 智史）が運営する、“顔の見える”大阪府内のクリエイティブ事業所を紹介するWEBサイト「クリエイティブクラスター」（※2）の登録社数が、このたび累計1000件を突破しました。“顔の見える関係”のさらなる発展を目指し、メビック扇町は13年目となる今年度（2015年5月～2016年4月）の活動を開始します。引き続き、現役クリエイター約60人（コーディネーター＋取材チーム）、地域外のエリアサポーター135人と連携し、対面対話に重点を置く活動を通して、クリエイター同士の連携・競争や異分野ネットワークの構築、新たなビジネスの創出など、大阪のクリエイティブ産業の事業環境整備と活性化に取り組みます。

（※1）クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

（※2）クリエイティブクラスターとは相乗効果の生まれるクリエイティブ産業の集積のこと。メビック扇町は、クリエイティブ関連事業所数12,330社、従業員数174,513人（2012年経済センサス）にのぼる、大阪で活躍するクリエイターたちが互いに知り合い、顔の見える関係を築くための新しいコミュニティづくりを、クリエイティブクラスター創成活動と位置付け、取り組んでいます。

■実施9年目のコーディネーター制度

「クリエイティブクラスター」への掲載は、まず、メビック扇町のスタッフと現役クリエイターで構成する「クリエイティブコーディネーター」が、掲載を希望するクリエイターや事務所を訪問（もしくは、面談）。仕事の内容やこだわり、得意分野などについて、実際に意見交換を行ったうえで情報を掲載するという手順を踏み、“顔の見える”関係を拓けることで、クリエイター同士の連携・競争を促進しています。特に今年度のコーディネーター26人は30代が中心であり、次世代を担う若手クリエイターの発掘や育成、連携を強化します。



現役クリエイター同士が実際に会って話すことで、刺激を受け合う

■“顔の見える関係”からコラボレーション、連携・協働事例は累計2132件

メビック扇町では2003年の設立から一貫して、クリエイターに会いたい企業、企業に会いたいクリエイターが集まるプレゼンテーション大会や商談会などのイベントの実施、少人数ミーティング、サロン、展示会など、顔の見えるリアルな出会いの創出に力を入れてきました。そこから生まれた協働事例の総数は累計2132件（2003年5月～2014年12月）にのぼります。

近年はクリエイターとの協働を求めて企業・団体からの問い合わせも増加。新商品のプロモーションや広告だけでなく、商店街の活性化やまちおこしなど地域の課題解決にクリエイターが活かされる協働事例も生まれています。今年は、6次産業化が進む農業分野や、気運高まるインバウンド観光分野などでの協働事業の創出に期待しています。

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

広報担当：松井

〒530-0025 大阪市北区扇町 2-1-7 カンテレ扇町スクエア 3F

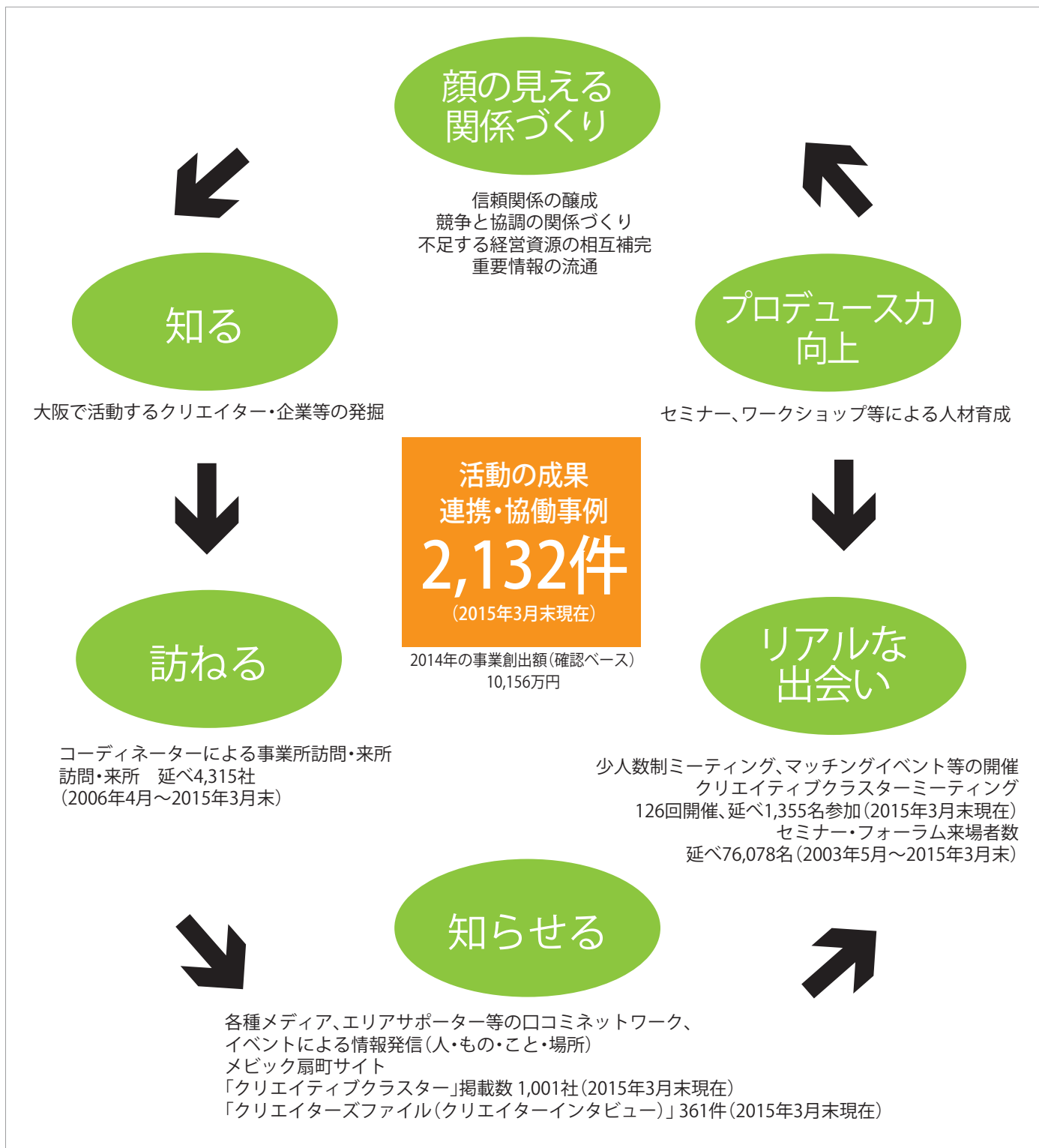
TEL:06-6316-8780（平日 10:00～21:30）

FAX:06-6316-8781

e-mail:info@mebic.com

ホームページ：<http://www.mebic.com/>

■メビック扇町の実施事業 イメージ図



クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町とは

メビック扇町は、2003年5月に大阪市経済局(現:大阪市経済戦略局)が設置し、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが運営するクリエイター支援施設です。2007年4月より「クリエイティブクラスター創生事業」を開始。メビック扇町では、大阪で活動するクリエイターたちが互いに知り合い、顔の見える関係を築くための新しいコミュニティづくり、大阪に集積するクリエイティブ関連企業の活性化に取り組んでいます。